長井会長追悼漫画

東陽片岡

このような強欲顔、情けない顔が多い会長の中で、長井会長のバヤイ、世間一般大衆の代表選手のような、安心できる顔の持ち主だったと思います。

そして、ワタシが一番感動したのは、生涯借家住まいを通した事であります。世の中に、借家に住んでおる会長がどれ程いるでしょうか。

そういえバ、以前テレビで住宅問題の討論会をやってた時に、ゲストの和田勉が「家なんて持たなくていいんだよ」と言ってたのを思い出します。
人間ね、家なんて持たなくていいの。
和田勉

あんたね、家持ってるクセにね、
そんな事言えないじゃないですか。
はい……
社会党

長井会長の自著「ガロ編集長」によると、戦争当時、空襲による被害を少なくする為に、父親が苦労して建てた家を取り壊す光景を見て、「この時の経験から、私には、家などというものはまったく空しいものだという考えが染みついてしまった。」と書かれてあります。

偉い人はちゃんと解っているのだと思います。小川のほとりの東屋で寝起きする、タイの前バンコク知事、チャムロンさんをほうふつとする意志の強さを感じます。

長井会長が亡くなられたのは、つくづく残念であります。

とはいえ、自分の作品を見ていただいて評価して下さったのですから、なんてシアワセなんだと思います。らっきょうさえあれば、後は何もいらねえ。つーような感じであります。

ハア～らっきょううまい。

ちなみに、おいしいらっきょうが売ってたら誰か教えて下さい。

長井会長とゆうと、あの材木屋さんの2階を思い出します。ワタシは近所のカレー屋さんで大盛カレーを食った後、いつも下から眺めておりました。あそこに長井会長がおるのだなと思ってました。あの頃がひたすら懐しい今日この頃です。

なんか、今でも長井会長は、空飛ぶ畳に乗って、あちこち飛び回ってる気がします。どっかで見ている気がして仕方ありません。

青林堂

終